

富山大学理学部後援会設立趣意書

富山大学理学部の歴史は、昭和24年5月31日に、旧制富山高等学校文科・理科を母体として設立された文理学部に始まります。次いで昭和52年5月2日の文理学部改組により、理学部が設置されました。この時、数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科の5学科でスタートしました。翌年4月1日には、大学院理学研究科数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻（修士課程）が設置され、さらに3年後の昭和56年4月1日に大学院理学研究科地球科学専攻（修士課程）が増設され、5専攻からなる大学院修士課程をもつに至りました。平成5年4月1日には、それまでの5学科が改組・拡充されて、生物圏環境科学科が増設され、その4年後には、大学院修士課程に生物圏環境科学専攻も設置されました。さらに、平成10年4月1日には、大学院理工学研究科博士課程が設置され、最先端科学の教育・研究を推進する体制が整備されました。

理学は、原子から宇宙まで、生命体を含めて、自然を律している基本的な原理や法則を究めることを目的とした学問ですが、同時にまた、次世代エネルギーの開発、新素材の開発、環境保全など、応用分野の諸問題の解決にも深く関わっています。富山大学理学部では、このような理学の目的を究めるために、数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科、生物圏環境科学科の6学科の、それぞれの分野で、学生達と教員が共同で日夜教育・研究活動に励んでいます。

また、理学部では次の教育目標を実現するため、様々なカリキュラムの実施とその改善に努力しています。

1. 課題探求能力を持ち、国際社会で活躍できる人材の養成
2. 社会の多様な変化に対応した教育の実践

これらの教育目標を達成するために、私たち理学部学生の保護者並びにこの事業に賛同する方々と教員が協力し合って、教育環境の整備・充実等の教育活動支援や就職活動等の支援に取り組んでいくことが必要となります。

そこで、私たち発起人は、学生の保護者、この事業に賛同する方々および教員と相互に連帯して、富山大学理学部における教育の健全な発展を支援することとし、富山大学理学部後援会の設立を発意しました。

つきましては、現在富山大学理学部に在籍している学生の保護者、並びにこの事業に賛同する方々と教員には、何卒、富山大学理学部後援会設立の趣旨にご賛同を賜りまして、ご入会下さいようお願い申し上げます。

平成16年12月1日

富山大学理学部後援会設立発起人一同

富山大学理学部後援会設立発起人

(代表)

富山大学総合情報基盤センター教授

(同窓会会員各学科発起人)

富山大学理学部同窓会長

富山大学名誉教授

株式会社 西野 代表取締役社長

アースコンサル株式会社 代表取締役社長

(株)三和製玉 代表取締役社長

(有)プライマリウェイブ取締役

北陸コカ・コーラボトリング株式会社

(現職教員)

理学部長

理学部数学科長

理学部物理学科長

理学部化学科長

理学部生物学科長

理学部地球科学科長

理学部生物圏環境科学科長

高井 正三（物理学第21回、昭和48年卒）

平田 卓郎（化学第1回、昭和28年卒）

葛 晋治（数学第10回、昭和37年卒）

西野 俊一（物理学第21回、昭和48年卒）

西井 淳（化学第28回、昭和55年卒）

松永 豊（生物学第34回、昭和61年卒）

竹本 浩（地球科学第1回、昭和56年卒）

岡田 知子（生物圏環境科学第1回、平成9年卒）

平井 美朗（理学部化学科教授）

吉田 範夫（理学部数学科教授）

常川 省三（理学部物理学科教授）

樋口 弘行（理学部化学科教授）

神阪盛一郎（理学部生物学科教授）

酒井 英男（理学部地球科学科教授）

中村 省吾（理学部生物圏環境科学科教授）

以上